

会議録

会議名	小国郷医療福祉あんしんネットワーク全体会		
開催日時	平成 31 年 1 月 16 日 (水) 19 時 00 分～19 時 50 分	開催場所	南小国町自然休養村管理センター 2 階 大会議室
議題	1、各チームから来年度の事業計画及び予算について 2、在宅医療サポートセンターについて 3、その他 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの連絡 ・若年性認知症の研修について ・あんしんネットワークの記録係について ・各チームの発表内容の取りまとめについて ・質疑応答 ・サポートセンター悠愛より 		
出席者	39 名		
全体司会	有働さん（小国町社会福祉協議会）		
記録者	佐藤（ファーコス薬局 ゆう）		

議題	内 容
1、各チームから来年度の事業計画及び予算	<p>●事例検討チーム（穴井悠斗さん）</p> <p>本年度は 2 回開催計画で、3 月に残りの 1 回を開催する予定。次年度も同様に行う予定。</p> <p>現状の課題が 5 点。</p> <p>①事例検討会の目的についてチーム・参加者・世話人の間で充分な議論ができるおらず、意識の共有が出来ていない。</p> <p>②事例提供者が特定の方になってきており、幅広い事例を取り扱う事が出来ていない。</p> <p>③参加者にやや先細り感があり、参加者が固定的になってきている。</p> <p>④事例の課題の抽出・共有・課題解決について明確な解決を導き出すような議論ができていない。</p> <p>⑤政策につながるような地域課題の抽出にまだつながっていない。</p> <p>事例検討会のあり方や目的、進め方について事例検討チームの中で議論を行っていきたい。</p> <p>★申請予算：事例資料印刷費用 2 千円。事務費 1 千円。</p> <hr/> <p>●情報共有チーム（穴井さん）</p> <p>小国郷情報共有シートの見直し。メディカルケアステーションの導入。どちらとも達成できていない状態。</p> <p>来年度も情報共有シートの更新と、情報共有の ICT 化を進めていく。</p> <p><ケアシートの見直しについて></p> <p>意見は頂いているので現在修正作業中。</p> <p><メディカルケアステーションの導入について></p>

情報共有をスマホや携帯で簡単にできるが、個人情報漏えいの可能性があるのでチーム内でも慎重に進めているところ。

熊本県医師会が勧めている「熊本メディカルネットワーク」との連携が取れないかを考えている。具体的な事業計画は未定。

看取りのICT化を勧めていく中で、看取りチームとの連携も進める。

★申請予算：資料印刷費5千円。

共有シートを留めるファイルの購入費6千円。

ICT化に伴う端末費用・通信費は各事業所負担。

●認知症カフェチーム（矢羽田さん）

来年度も毎月第2・第4木曜日開催予定。6月27日にオープン4周年イベント、12月26日頃クリスマスイベント開催予定。

<課題として>

①現状、デイサービス化・サロン化しているのでそこを見直す予定。1年かけてカフェの説明・啓発を行っていく。

②チーム員でも考え方・カフェの進め方がバラバラなので、認知症カフェ運営マニュアルを作成する予定。

③全体会の1コマ（20分～30分）程度で、認知症カフェの説明・啓発を行って、チーム員の中でも共通認識を得られればと考えている。

④「(仮称) ケアカフェ」として夜に開催するカフェを1回検討している。認知症の人をお世話している人を対象とする。

★予算申請：

講師謝礼 : 2万円

イベント代 : 3万円

お茶菓子代 : 2万2千円

ガスファンヒーターレンタル : 6千円

消耗品代（飲料） : 2万4千円

消耗品代（その他） : 3万円

物品購入代 : 1万円

印刷費 : 5万円

予備費 : 9千8百円

<合計> : 20万1千8百円

●出前講座チーム（甲斐田先生）

1月・2月・3月のスケジュールを配信。

1月8日、カンガルーのぼっけで栄養士さんが講演。

1月22日、南小国新町でリストさんがリハビリについての講演。

2月12日、カンガルーのぼっけで公立病院さんが感染予防についての講演。

来年度も月2～3回程度を予定している。

今年度、リストさん24回講演。

出前講座についての要望が出てきている。要望と講師の予定をすり合わせつつ、話を進めていければ。

同じ講師の方が、同じところで講座を行うときは、テーマを変えていただければ幸いです。

★予算申請：講師謝礼 3万6千円（1回1千円、年間36回として）

●みとりチーム（佐藤明日香さん）

在宅医療サポートとの兼ね合いを考えて、在宅医療を充実する。

ICTを利用した看取りのシステム構築に向けての計画を考えており、情報共有チームとのチーム連携をお願いする予定。

往診や在宅医療について、住民への啓発・各連携機関での定例連絡会について計画している。

★予算申請：エンディングノート増刷費 30万円。

エンディングノートの啓発も行っていきたい。

●広報チーム（片岡先生）

チーム員：片岡先生（公立病院）、鈴木さん・眞子さん（阿蘇都市医師会）、周寶さん（リストア）

参画：甲斐田先生（甲斐田歯科）

広報チームとして集まって話し合いをしていないので、役割分担が進んでいないのかも。

来年度に向けて、どの媒体は誰が担当するかなど、決めていく。

利用媒体は、ホームページ・フェイスブック・ほっとおれんじ。場合によってケーブルテレビ・新聞・テレビ局。

小国郷のあんしんネットワークがどういうものであるか、ということを世の中の人たちに知ってもらうことが使命と考えている。

ほっとおれんじ、昨年度に出す予定だったが、時間と手が足りず作成が出来なかった。昨年度の予算を今年度に予算を繰り越している状態。

今年度の業績で一番大きかったこととして、在宅医療サポートセンターの指定を受けたことが挙げられる。この事も内容に含めて、ほっとおれんじを今年度にして、後に配布したい。

★予算申請：なし。

今回のほっとおれんじについては昨年度の繰越があり、また来年度はほっとおれんじを出さないため。

●総務チーム（佐藤局長）

両町の福祉課、社会福祉協議会のメンバーで屋台骨を支えていく。

出していただいた予算事業計画の骨子を取りまとめて具体化した上で、ネットワーク全体としての事業計画・予算案として作りあげ、予算獲得の交渉をしていく。

ネットワークの運営全体を担い、対外的なところも担当している。

在宅医療サポートセンターの受託は、安心ネットワークとしての受託であり、県内でも連携型としては初めてになる。

ここからの財源は県の認知症ケア推進課の所管であり別の財源となるため、

	<p>従来の財源とは別に運用していくことになる。</p> <p>1月11日、阿蘇でシステム研究会の理事会があり、これまでの暫定的な事業の報告を行ってきた。あんしんネットワークの各参加者が、各チームにそれぞれ加入し、それぞれ自分たちで活動している点が関心を持ってもらえたところだろうと考えている。次年度もこの方向は変えずにやっていく。</p> <p>両町から助成をして頂いて、活動に支障がないように今後もやっていく予定。新しい事業をしていく中で新しい財源の確保も役割であると考えている。</p>
2、在宅医療サポートセンターについて	<p>片岡先生から。</p> <p>安心ネットワークも5年が経過。5年が経つと初めにやろうとしていたことがある程度達成されていき、次に何をやろうかが見えにくくなり、あんしんネットワーク全体が停滞した感じになっている。次の5年に向けてリスタートし、次の目標を決めて今後臨んでいっていただければと考えている。</p> <p>医療と介護の連携を進めていく目的で、県や市町村で様々な組織が出来ているが、小国郷では安心ネットワークが先んじて発足し活動している。あんしんネットワークでやろうとしていたことと同様の依頼が県や市町村から来たため、あんしんネットワークで色々と受けているという状態にある。</p> <p>熊本県では市町村から介護連携の予算が出るが、阿蘇の在宅医療システム研究会が阿蘇圏域を受けており、その北部の担当をあんしんネットワークに組み込んだという形。</p> <p>在宅医療サポートセンターは、介護連携の方ではなく医療連携の方であり、あんしんネットワークは今回、県からそれを引き受けた。県下で、ネットワークとしてこれを引き受けたのはあんしんネットワークが初。他の自治体がやろうとしていたことを、小国郷では先んじて行っていたためにこれが出来たのであり、この事は誇りに思ってほしい。</p> <p>結果として医療連携と介護連携をあんしんネットワークがまとめて引き受けられたので、県の予算と市町村の予算の利活用は、今後スムーズにいくのではないか。</p> <p>12月3日、熊本県庁で健康福祉部古閑部長から指定証を頂いてきた。指定証は小国社協に置いておく？</p> <p>下りた予算は、6か月で114万円になる。しかし指定されたのが12月からなので、12月～3月までの4ヶ月分として76万6千円が入ってくる。</p> <p>在宅医療サポートセンターでやらなければならない必須項目が4つある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、急変時対応の取り組み 2、入退院支援の取り組み。 3、訪問診療などのサービス提供料の増加に向けた取り組み 4、在宅医療サポートセンター事業の連絡会の開催 <p>これらが書かれた紙を後日配布予定。</p>

	<p>必須項目以外にも任意項目がいくつかある。その中でも、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、日常の療養支援の取り組み 2、看取りに対する取り組み <p>以上2つを事業計画に取り込む。</p> <p>これらの事業計画について、12月から3月にかけて76万6千円の予算が入る予定になっている。</p> <p>公立病院事務の高野さんが安心ネットワークの在宅医療サポートセンター事務局の窓口担当として働いており、高野さんが作成した予算書が県に提出され、修正などのやり取りが行われている。</p> <p>申請期間まで短かったので、話し合いを経ずとりあえず提出したという形になっている。後日の書き換えが可能。</p> <p>医療連携に関することなので、まず公立病院と開業医の先生で集まり、その後、訪問看護ステーションと話し合う必要があると考えている。</p> <p>地域在宅サポートセンターも少しずつ動き出している。まずは医療の方から動いていき足場を固め、それから介護との連携、訪問看護との連携、色々な連携をしていく。</p> <p>お金の全体的な取りまとめは総務の方で担当してもらい振り分けてもらう。コンセンサスを得たうえで、エンディングノートの増刷にこちらからお金を出していければ良いかなと考えている。</p> <p>比較的何にでも使えるお金として下りてきている。今までではお金が出なかつた所に、同じことをしてもお金を出るようになると認識していただいている。</p>
3、その他	<p>①事務局からの連絡</p> <p>安心ネットワークのハンドブックの更新について。</p> <p>今年度中に作り直す予定。現在記載されている情報から変更のある事業所は、1/31までに変更点をデータで送ってほしい。紙ベースだと変更点の確認などが難しいのでデータをメールで送っていただくようにお願いします。</p> <p>写真も自分たちで撮ってもらって一緒に送ってもらえば差し替えておく。</p> <hr/> <p>②若年性認知症の研修申込みについて</p> <p>1/16 ⇒ 1/21まで申し込みが延長。参加希望があれば今回の資料の裏面に事業所何名という形で記載し、たまな散歩道さんへFAXで送る。</p> <p>住民向けには、両町の包括支援センターが受付窓口になっている。</p> <p>当日のお手伝いを募集しています。駐車場係と会場の中の案内と受付係。</p> <hr/> <p>③あんしんネットワークの記録係について</p> <p>記録係はいくつかの事業所が交代で担当していますが、手伝っていただける方はぜひ声をかけて頂きたい。結構大変です。世話人会と全体会の両方の記録をしています。</p> <hr/> <p>④各チームの発表内容の取りまとめについて</p>

各チームのリーダーさんが読んでいた内容を、データで事務局に送ってください。後ほど各員に配ります。

⑤質疑応答

Q.ハンドブックに新しい施設を入れ込んでほしい時は料金がかかるのか？

A.基本的にはかからない予定。ただしデータで情報を送ってほしい。

Q.阿蘇の方には有料老人ホームが増えている。安心ネットワークに参加している施設ではないが、施設側が希望すればハンドブックに入れ込むことはできるのか？

A.現状載っているのは、あんしんネットワーク参加している事業所や近隣の医療・介護機関だけ。ハンドブックの印刷に1冊500円位かかる。ページが増えると印刷費が増えてしまう。世話人会の方で話し合ってから回答するので、少し待ってほしい。

Q.若年性認知症の研修の提出先について。

A.どちらでも構いません。たまな散歩道さんでも包括でもいい。個人であれば包括で受け付けている。

Q.出前講座チームに声をかけずに、婦人会などで自発的に広報活動を行っているのだが、出前講座チームに報告した方がいいのか？

A.連携できる可能性もあるし、要望を集計したいと考えているので、一応声をかけて頂ければありがたい。

Q.婦人会などで自発的に認知症カフェなどの広報や宣伝をしているが、これを報告する必要はあるか？

A.ネットワークの活動に影響が出ることでなければ、問題ないと考える。

Q.その広報の場で、パンフレットが必要なことがあるのだが。

A.連絡していただければ手持ちなどを調べて回すことはできるかもしれない。要望なども募集しているので、とりあえず連絡してほしい。

⑥サポートセンター悠愛（麻生さん）より

新年会で農福連携レストラン「すずかれん」を利用したことに対するお礼。安い金額で皆さんにご満足頂けるように努力していく。障害者雇用の場として定着できるよう、頑張っていきます。

新商品として味噌と豆乳プリンとシフォンケーキを開発し販売許可もとっている。4月～5月頃になると思うが、豆腐や揚げと同様に店頭で販売予定。